



令和5年10月19日  
東日本高速道路株式会社

## スマートフォン向けメタバース上に高速道路・サービスエリア初登場！ 11月限定で「NEXCO東日本ハイウェイワールド」がオープンします ～SA・PAでコラボイベントを同時開催～

NEXCO東日本(東京都千代田区)とREALITY XR cloud株式会社(東京都港区)は、スマートフォン向けメタバース「REALITY」アプリ上で、メタバースでは初となる高速道路空間「NEXCO東日本 ハイウェイワールド」を11月1日(水)～11月30日(木)までの1か月間、期間限定でオープンします。

また、これを記念して、海ほたるPA(パーキングエリア)をはじめとする関東近郊のSA(サービスエリア)・PAで、現地イベントを開催します。





## 1. 「NEXCO東日本 ハイウェイワールド」について

「NEXCO東日本 ハイウェイワールド」とは、スマートフォン向けメタバース「REALITY」アプリ上に、バーチャルならではの仕掛けを加えて高速道路空間を再現したものです。ワールド内では、仮想高速道路のドライブや、自分のアバターを使って「Highway Walker」表紙モデルになりきる「なりきりHighway Walker」など様々な仕掛けを体験できます。バーチャル体験を通じて、高速道路での思い出をライブ配信などで語り合う場所にすると同時に、車の運転や高速道路に馴染みのない方にも、高速道路を知っていただくきっかけになることを期待しています。



※ワールドの中はご自由にお楽しみいただけるようになっていますが、実際にSAや高速道路をご利用の際には、交通ルール等を遵守していただきますようお願いいたします。

## 2. 「NEXCO東日本×REALITY」現地イベント

メタバース上に高速道路が初登場したことを記念して、現地イベントを開催します。「REALITY」アプリ内で選ばれた人気配信者が現地イベントのアンバサダーとして就任し、アバターの姿でイベントを盛り上げます。

バーチャル空間に  
高速道路やSA・PAが出現



リアルな海ほたるに  
メタバース「REALITY」を感じる空間や  
人気アバターが登場



### (1)海ほたるPAイベント

開催日： 令和5年11月1日 ～ 30日

開催場所： 海ほたるPA 4階イベントスペース

実施内容：①「NEXCO東日本×REALITY」コラボスペース開設

②コラボスペース内等身大アバターパネル展示

③コラボスペース内アバター出演動画放映

④海ほたる館内アバター出演ポップ展示

⑤海ほたる館内アバター出演ポスター掲示

⑥海ほたる館内キーワード集めゲームイベント

※参加者には限定グッズをプレゼントします



### (2)関東エリアSAPAイベント

開催日： 令和5年11月1日 ～ 30日

開催場所：関東近郊のSA・PA

実施内容：①デジタルサイネージへのアバター画像掲載

②等身大アバターパネルの展示

【②は、常磐道守谷SA(上り)(下り)のみ】



※(1)(2)の詳細な開催時間については、REALITY 公式 X(旧 Twitter)アカウント【@REALITY\_app】からご確認ください。

### 3. スマートフォン向けメタバース「REALITY」とは

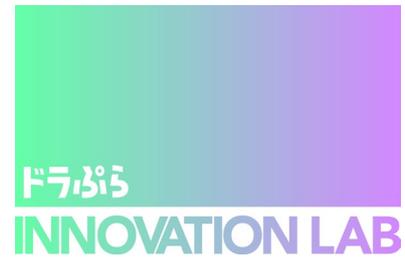
世界中で累計1,000万ダウンロードを突破したスマートフォン向けメタバースです。スマートフォン一つで自分だけのオリジナルアバターを作成してライブ配信による交流からゲームまで楽しめるコミュニケーションプラットフォームです。

### 【ドラぶらイノベーションラボとは】

当社のオープンイノベーションを一層促進し、新たな技術やサービスアイデアなどを持つ会社などと、ラボを通じて技術・ビジネスモデルを検証しながら、次世代の高速道路サービスの実現や、地域の活性化、社会課題を解決するような事業を創出することを目的としています。

当社は、地域と地域をつなぎ、お客さまの「安全・安心・快適・便利」を支えてきました。これらに加えて、さらに、ヒト・モノ・コトの移動に「新しい価値」をご提供し、サステナビリティのある運営を目指します。

当社は、新たな価値創造に向け、引き続き取り組みを強化してまいります。



### [参考]

<REALITY XR cloud株式会社>

設立 2023年

本社所在地 東京都港区六本木6-11-1 六本木ヒルズ ゲートタワー

代表者 代表取締役社長 春山 一也

事業内容 法人向けメタバース構築ソリューション「REALITY XR cloud」の開発・運営

NEXCO東日本グループでは、2021～2025年までの期間を「SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間」と位置づけ、様々な取り組みを行っています。

今回の「ドラぶらイノベーションラボ」の取り組みについては、パートナー企業との新たなサービス・プロダクトの共創・社会実装につながる事業活動として、SDGs目標の8番、17番に貢献するものと考えています。

